２０２５年６月１５日

NPO法人ルワンダの教育を考える会

企画書

平和への行進　～世界の証言に学ぶ、日本横断～

今年は第二次世界大戦終戦80周年に当たります。第二次世界大戦は、1939年9月から1945年8月まで、日本・ドイツ・イタリアの枢軸国とイギリス・フランス・中国・ソ連・アメリカなど連合国との間で起きた世界的規模の戦争ですが、全世界で約6,000万人（軍人約2,000万人、民間人約4,000万人）、日本で約280万人（軍人約200万人、民間人約80万人）もの人々が亡くなったといわれています。そして核兵器が使用された史上唯一の戦争であり、1945年8月6日には原子爆弾のリトルボーイが広島に、9日にはファットマンが長崎に投下され、合計で12～20万人もの犠牲者を生んでいます。また、ルワンダでは1994年4月～7月にジェノサイドが勃発し、たった3か月間で80～100万人もの犠牲者が出たといわれています。いずれも、世界的な恐慌や貧困に伴う経済的な格差、領土争い、人種差別や宗教間の争い、情報操作や誤った教育などに端を発しています。

そして今もなお、ロシア－ウクライナやイスラエル－イランなど、世界各地で民間人の犠牲を伴う悲劇的な戦争が起きています。もう二度とこのような悲劇を繰り返さないために、私たちは現状を諦観するのではなく、諦めずに平和への行進を続けなければなりません。NPO法人ルワンダの教育を考える会では、第二次世界大戦終戦後80年のこの夏、アフリカで紛争を体験した仲間と共に福島、広島、長崎を訪れて、日本の方々と未来の平和を考える下記イベントを企画しました。

－　イベント内容　－

1. 福島訪問

東日本大震災の際に津波や原発の被害に遭った浪江町への訪問

開催日：8月1日（金）～3日（日）

内容：復興や震災について分かち合い、伝承館の視察、地元の方との交流

1. 広島訪問

広島市立大学サテライトキャンパスでの学び

開催日：8月4日（月）～6日（水）

内容：被爆者による講演、式典参加、アフリカでの紛争体験の講演

1. 長崎訪問

長崎大学での学び

開催日：8月7日（木）～9日（土）

内容：被爆者による講演、式典参加、アフリカでの紛争体験の講演

対象：どなたでも　　　参加費：無料　　　主催：NPO法人ルワンダの教育を考える会